

審議会名	令和5年度 第2回 前橋市スポーツ推進審議会
日 時	令和6年2月20日(火) 午後2時から午後2時40分まで
場 所	本庁舎11階 東会議室
出席者	(委員：7人) 遠藤会長、狩野委員、滋野委員、静委員、野村委員、阿久澤委員、曾根委員 (事務局：7人) 阿佐美文化スポーツ観光部長、篠田スポーツ課長、田村補佐、萩原補佐 齋田補佐、加藤主任、八高会計年度任用職員
欠席者	蜂須副会長、塩原委員、中雄委員、中村委員、小山委員
内 容	【審議会】 1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 報告事項 ・令和5年度事業報告について (2) その他 4 閉 会
決定事項	令和5年度 事業報告及び質疑応答を行った。
配布資料	令和5年度 第2回 前橋市スポーツ推進審議会資料
問合せ先	スポーツ課スポーツ誘致係 027-898-6005

令和5年度 第2回 前橋市スポーツ推進審議会 【会議録】

【審議会】

1 開 会

2 あいさつ

- ・文化スポーツ観光部 部 長 阿佐美 忍
- ・前橋市スポーツ推進審議会 会 長 遠藤 祐司

3 議 題

(1) 報告事項

事務局より、資料に基づき報告。以下、質疑応答

(遠藤会長)

今の報告について何か質問等がありますか。

(滋野委員)

県営水泳場が国スポに向けて、今年の10月に施設改修のため閉鎖になり、大渡温水プールでの水泳大会が増えていくことが予想されているが、タイムの自動記録装置が古くなっている。入替えや設備改修等の予定はあるか。

(事務局：田村補佐)

具体的な入替えの時期や設備改修の計画は未定ですが、今年度、パソコン関連ソフト等のシステム改修は実施させていただいた。今後も適宜改修等を実施していく予定です。

(遠藤会長)

他になにかありますか。なければ私から1つ申し上げたい。現在、各地のスポーツ大会に参加しながら会場の雰囲気や開催状況を見ているが、全国的にスポーツ大会の在り方が見直されているなど感じている。会場周辺の歓迎フラッグや大会規模、町全体の雰囲気など、以前に比べると華やかさに欠けていると感じた。また、今年の1月から国民体育大会（国体）から国民スポーツ大会（国スポ）名称が変更になったことも十分に知られていない。「国体＝国スポ」の名称変更だけでこれまでの盛り上がりや雰囲気作りは変わらないといったことを群馬県（前橋）としても積極的に周知・PRを行ってほしい。国スポまであと5年もあるが、選手にとっては短いと思う。きっとそこに懸ける思いを考慮すると、あっという間に過ぎてしまう。ぜひ、本県で開催する際には、華やかにしてほしい。そういった現場意識で、事務局含めた前橋市としても国スポの周知と準備を進めてほしい。

(事務局：篠田スポーツ課長)

国スポに向けた現状を簡単に説明させていただきます。群馬県としても国スポを‘コンパクトなスポーツ大会’として新たな施設を建設するのではなく、既存の施設を有効活用しながら開催運営を実施していきたいと考えております。前橋市としても14競技実施される予定ですので、アスリートのみなさんが競技に集中できる環境づくり、また、先ほどの遠藤会長の話にもありましたが、地元の雰囲気づくり、町全体の盛り上がりといった部分も重視しながら引き続き、準備を進めてまいりたいと考えております。

(事務局：阿佐美文化スポーツ観光部長)

1点補足をさせていただきます。国スポはスポーツに限らず、観光の分野でも非常に重要な意味を持っていると思っております。文化スポーツ観光部としてもスポーツだけでなく観光も含めた雰囲気づくりも積極的に実施していきたいと考えております。国スポをきっかけに群馬に行こう、前橋に行こうという方も増えてくると思うので、地域経済の活性化や観光PRの部分も実施できる大きなチャンスであると捉えております。開催まで時間は短いですが、引き続き、本審議会の委員のみなさんからのアドバイス等を含めながら、準備を進めてまいりたいと思います。

(遠藤会長)

確かにそのとおりである。スポーツ大会に行くだけで帰る人はほとんどいない。必ず公共交通機関を使用したり、レンタカーを使用したり、宿泊や飲食をしたりと様々な分野に繋がっていると思う。こうした循環により、さらに取り巻く環境が充実したり、システム環境が向上したりと良い効果も期待できる。ぜひ残りの時間を軽視せずに、できることを最大限活用しながら準備を進めていってほしい。

4 閉 会